

## 報告 “インドで日本語教師を育てる” 新規プロジェクト

### 日本語教師育成特別強化事業が始動

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、日本語教師育成特別強化事業を開始します。本事業は、外国人高度人材に対する日本語教育のニーズに対応するため、特にアジアにおける日本語教育の拡充をめざし、その国で外国人日本語教師を集中的に育成する体制を整備するという、これまでにない取組です。

インドでは、昨年9月の安倍総理訪印の際の日印首脳会談において、今後5年間で、100の高等教育機関において日本語講座を設立し、1000人の日本語教師を育成する取り組みを行うことが決定されたことを受け、本事業の準備を進めてきました。

7月23日には、デリーにおいて日本語教師育成センター開所式が開催され、日本側より平松賢司大使、櫻井友行国際交流基金理事他が、インド側よりV.K.シン外務閣外大臣、ジャワハルラル・ネルー大学副学長らが出席しました。



開所式で、平松大使は、日印両国の関係者による尽力を多とするとともに、インドにおける日本語教育振興の取組は我が国がインドの「メイク・イン・インド\*」政策を支援する上でも重要であることを述べました。櫻井国際交流基金理事は、本事業を通じ、優秀な日本語教師が育成され、多くの高等教育機関で日本語教育が始まることを期待すると述べ、開所式に出席した新規育成コース第1期生約30名を激励しました。インド側より、V.K.シン外務閣外大臣は、日本は重要なパートナー国であり、インドでの日本語の普及は、お互いの理解を助け、これからインドで起こる日本企業による様々な事業を促進することになると述べました。（\*「メイク・イン・インド」は「インドでものづくり」という意味で、外国資本の誘致や製造業の促進により、インド経済の発展を目指す政策）

日本語教師育成センターの活動は、在インド日本国大使館と国際交流基金、インド外務省が共同で運営を行います。新規育成コース第1期生は、同日に研修を開始し、10月まで3か月間のコースを受講します。その他のコースも、これから順次開講される予定です。

#### 記

##### ■事業概要（インド）

現地名称：日本語教師育成センター（Japanese Language Teachers' Training Centre）

研修施設：ジャワハルラル・ネルー大学敷地内の人的資源開発センター

講師体制：国際交流基金派遣の日本語専門家、インド人常勤講師

開講予定コース：新規育成コース（3か月360時間コース、5日間30時間コース）、現職教員向け研修（大学教員対象、初中等教育機関教員対象、地方現職教員対象）

以上

**主催者・本事業に関するお問い合わせ：** 国際交流基金 日本語事業部 事業第1チーム（担当：星井）

Tel: 03-5369-6067 / Fax: 03-5369-6040 / E-mail: Naoko\_Hoshii@jpf.go.jp

**取材に関するお問い合わせ：** 国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp